

2021年度おだわら市民交流センターUMECO実施計画

※UMECOの基本コンセプト「つながる」に基づく3つの方針

- ・きっかけ：つながるを生み出すきっかけの場（市民活動に興味のなかった方にも地域課題に関心を持ってもらう。身近な社会貢献活動の環境を整備する。）
- ・行動：それぞれの思いがにつながる行動の場（市民活動団体だけでなく、事業者や地域活動団体等の多様な主体の交流を促進し、新たな連携関係を生み出す。）
- ・実現：行動を社会貢献につなげる実現の場（活動をより社会貢献度の高い活動として広げる。資金や人材等をつなぎ、持続可能な事業となるよう支援する。）

①拠点機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	令和3年 目標値	令和2年度 実績値
1	UMECO 企画展	きっかけ	市民活動団体が実施している社会貢献活動の内容等を多くの市民に紹介し、団体と市民がにつながるきっかけを作る。	市民活動団体や関係所管部署からの展示企画の要望等を反映した形で、各団体の特徴を生かしながらジャンルごとの展示をする。また、市の行事や季節感のある行事を取り入れ、一般市民が興味を示すような企画展を開催する。常時アンケート調査を実施。展示希望団体の募集をする。	開催回数 参加団体数	30 30	25 25
2	<u>アクティブ サロン</u>	きっかけ	活動発表を希望する団体に場の提供をし、活動エリアや交流エリアを使用し活動紹介や制作物の販売等を行う	活動発表の機会が少ない団体で自分達も何か活動発表をしたいと考えている団体に対し活動発表の場を提供する。気軽な気持ちで参加して頂き又活動資金を得るための活動も支援する。エリアを活用しサロン形式でティーを販売したり制作物の販売をし活動資金の一助とする。活動希望団体の募集をする。	開催回数	11回	
3	団体登録更新	—	登録団体は少なくとも1年に1度は活動実績をベースに次年度の活動計画を立案し登録の更新をする。	UMECOに登録している市民活動団体に、年度更新の通知文を送付する。団体から必要書類の提出を受けて確認した上で登録団体データベースを更新する。それに併せてホームページの団体内容も更新する。 令和2年からはHello!UMECOを作成し関係者と一般市民に配布。 <u>今年度は全登録団体名簿とHello!UMECOの修正版を作成する。</u> <u>更新手続きはできるだけ多くの団体が登録できる様、メール・郵送・FAXも認める。その際地域ネットワーク協力について積極的に働きかける。</u>	年度末の 登録団体数	410	394 (1/20)

②相談・支援機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	令和3年度 目標値	令和2年度 実績値
4	相談業務	全て	市民活動・NPO関係・その他一般市民の市民活動に関する相談を受ける。相談内容に応じ、適切な対応をすることにより、相談者の市民活動を活発化させる。	相談業務の充実を図るために、全ての相談をスタッフ全員が受け付け対応できるようにする。通常相談は常時受付、予約相談は月1回第1土曜日に実施する。職員の研修を重ねる。 <u>UMECOだより・つながるのほかホームページ上にも相談業務窓口のPRを掲載する。</u>	相談件数	170	143 (1/30)
5	市民活動団体への資金面への支援	行動実現	市民活動団体が行う事業に対し、財政支援を行うことにより、市民活動の活性化を図り、市民の創意を活かした市民主体のまちづくりを進めること。	小田原市市民活動応援補助金の募集等を行うことに加え、市民等からの寄付金を財源とした市民活動団体への支援を行う。UMECO市民活動応援補助金は令和2年は0件であった。令和3年度は1～2団体を目標に応募者を支援する。 <u>交付事業実施時における相談・支援に努める。</u> ※（ ）内の数字はUMECO市民活動応援補助金該当数	応募件数 寄附金額	18 (1) 10万	18 (0) 22万

③協働支援機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	令和3年度 目標値	令和2年度 実績値
6	企業とのネットワーク	実現	市民活動団体が企業とネットワークを組むことにより、市民活動団体の活動場所や市民活動の意義の周知につなげ・又団体の資質の向上にもつなげる。企業のCSVと活動団体の協働事業を行うことにより更なる市民活動の推進発展を図る。	企業とのネットワークなので、企業と相談の上win winの中で活動する。シティーモールで年3回のフェスティバルを開催する。又指定管理期間の5年間で新たな企業との協働事業を開拓する。今年度も引き続き、実施可能な事業形態などを検討し施行する。 <u>令和3年度からミナカの金次郎広場で団体の活動発表の場を活用する。</u>	開催回数 参加団体数 参加者数	3 24 500	2 8 300
7	地域とのネットワーク	実現	地域活動団体と市民活動団体との連携を通じて地域の活性化や課題解決へと結びつける。従来のうきうき交流会は一定区域に限らず市内全区域で小田原市社会福祉協議会を中心に活動を行う。 新任自治会長の会合に参加し市民活動について説明する。	今年度も令和2年度に続き地域の課題解決のために、行政や地域のまちづくり委員会との情報交換を行い、中間支援組織として、UMECOの登録団体が地域課題の解決を支援する。 <u>地域活動の関係者と活動団体と共に課題解決に実績のあった事例を発表し双方に気付きや発展に結びつくための機会を作る。</u> 又従来から実施している地域活動団体等からの依頼に応じ、適した市民活動団体を選定し、紹介する。両者の交流を通してお互いの活動内容を理解し、令和3年には発展的な活動に繋げるために、 <u>市民活動登録団体の名簿と内容を表記し見やすい冊子を団体登録更新事業で作る。名簿の配布先は課題解決をする関わりの強い所を含め配布先を決定する。(例・まちづくり委員会実務担当者・自治会長・民生委員・公民館 学校・市民活動団体・ネットワーク事業 他)</u> 全団体が記載されているので各団体にも配布予定。	実施回数 実施団体数	5 5	0 0
8	<u>団体支援</u>	行動	活動団体を広い意味でいろいろな面から活動支援する。	学生支援・ボランティア成長支援・声の万華鏡・協働事業(うきうき交流サロン)その他団体支援に必要と認めた活動支援をする。	学生支援	15	13

④学習・体験機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	令和3年度 目標値	令和2年度 実績値
9	市民活動入門講座	きっかけ	超高齢化社会の中、若い人も含めシルバー世代の方も生きがいを持ち、生き活きとした社会生活が出来るよう市民活動へのきっかけ作りをする。 出張・出前講座含む 中高大学生に対し、市民活動とは何かを知ってもらうことにより、市民活動を実践するきっかけを作る。	市民活動の基本的な内容や、なぜ市民活動が楽しいのかを知って頂けるような講座を実施。市民活動を知らない方を対象に、市民活動に興味を持ち、活動をはじめてもらえるようなきっかけを作るための講座を開催する。 市内の大学や高校等へ積極的に働きかけ、市民活動について広く周知し啓発するために講座を開催する。 <u>近隣の学校に協力を働きかけ出張講座の数を増やす。</u>	開催回数 参加者数	3 100	1 31
10	団体向け各種講座	行動	各種団体が活動する中で必要と認められた講座を実施する 市民活動に必要な資金獲得や法人化のための支援、組織強化の支援に関する支援等を行うことで市民活動の発展を図る。	アンケートの結果インターネットを利用した会議や交流事業等を行いやすくするための情報提供やアプリの使い方に関する知識の提供の講座を開催する。 <u>NPOマネジメント講座・ZOOMの使い方・動画の作り方等、時代の流れに合わせた事業の展開をする。</u>	開催回数 参加人数	4 60	1 12 ※動画の作り方講座の実績
11	夏休みボランティア体験学習	きっかけ	青少年の時期には、学校内外を通じてボランティア活動の場や機会を充実させることが大切である。社会にどのような貢献ができるかという「ボランティア精神の芽生え」のきっかけ作りを行う。	ボランティアの受け入れを登録団体に募集し、受け入れ団体と・児童・生徒との橋渡しをする。できるだけ多くの市民活動団体の活動を体験させるために団体の積極的参加を得る。また、学生と関係ある学校側の協力を得るよう働き掛ける。 コロナにより社会状況が変化したので状況により実施する。	参加団体数 参加者数	30 200	0 0
12	男女協働参画の推進	きっかけ	女性の社会的・精神的・経済的な自立を目指し多方面にわたり支援すると同時に市民活動へのきっかけを作る。	社会的状況の中で女性のおかれている立場を理解し柔軟に考え必要と認められた事業を実施する。	開催回数 参加者数	1 30	0 0
13	インターンシップ受入	きっかけ	若い力を育てるためインターンシップの受入れを行い、多くの登録団体とつながる機会を作る。	インターンシップを希望する学生に対し、充実した体験学習プログラムを企画し要望や希望を受け入れ効果的な実施体験の場を提供する。	開催回数 参加者数	1	1

⑤交流・コーディネート機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	令和3年度 目標値	令和2年度 実績値
14	UMECO祭り	きっかけ	多くの市民にUMECOや市民活動団体を周知し、市民活動参加へのきっかけを作るとともに、参加団体相互の交流を図る。又、市民活動に興味や関心を持った市民がともに市民活動ができるようにする。	登録団体や利用者が一堂に会し、活動発表や作品展示など様々な企画（活動紹介・物品販売・パフォーマンス）を行い、自分たちの活動内容を多くの市民に知らせる。しかしコロナ禍の中では状況により実施方法を工夫しながら交流を図る。	開催回数 参加団体数 参加者数	1 80 100	1 60 57
15	団体交流会（わくわく交流会を改名）	行動	登録団体同士の交流会により、他団体の活動内容を知り、新たな発展的な活動の展開が行われ、市民活動の推進を図る。	課題別で団体が集まる市民活動団体間の交流事業。情報交換やワークショップ等を行う。今後も交流後のフォローを行い充実した交流会にする。また、 <u>地域の課題を意識したテーマを設定し、地域コミュニティ組織からも参加者を募るなど、地域とのつながりを大切にする。</u>	開催回数 参加者数	3 45	1 14 (1/30)
16	新春交流会	行動	市民活動団体が一堂に会し交流を図ることで、市民活動団体同士のつながりを生み出すキッカケをつくる。	1部はできるだけ団体の活動を知っていただけるような内容を企画し、2部は参加者同士のコミュニケーションが図れるよう工夫する。 <u>アンケートの積極的な回収と活用をはかる。アンケート結果を踏まえ改善できるところは改善し市民活動団体の交流を深める。</u> <u>コロナ禍の中での実施は、昨年実施したようにZOOMで実施する予定。</u>	開催回数 参加団体数 参加者数	1 25 50	1 24 46
17	企業・NPO・学校パートナーシップ	きっかけ	多様な主体の出会いときっかけづくりの場を作る。	「企業・NPO・学校のつながりin小田原」の事業は今年度は4回目になる。年々企業と市民活動団体とのつながりが増加し成果が上がってきた。そこで協働した事例を把握しその後のフォローアップにつなげる。	開催回数 参加団体数	1	1 ※2/11に 実施予定

⑥情報の集約・発信機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	令和3年度 目標値	令和2年度 実績値
18	メディア・ホームページ・情報発信	きっかけ	<p>情報発信の身近な手段としてホームページで多くの市民に市民活動情報を発信し、市民活動に興味をもってもらおう。小田原市の市民活動の推進・UMECOの利用促進を図る。</p> <p>FMおだわら、J：COMのラジオ及びケーブルテレビを通し、団体の活動を一般市民にPRし、更なる活動の推進につなげる。</p>	<p>小田原市の市民活動の推進及びUMECOの利用促進につながる様々な情報を収集して、ホームページで迅速・正確に発信する。(市民活動団体に必要な情報・助成金・活動の予告・団体からの情報その他必要と認める内容を掲載する。)</p> <p>FMおだわら(毎週日曜日の午前10時)10分～15分間、団体の活動紹介をする。 J：COM(随時) 団体のイベント情報の紹介等を行う。 事業実施前後にフェイスブックを活用し情報を提供する。</p>	<p>ホームページの閲覧件数</p> <p>FMおだわら参加団体数</p>	50000	44000
19	情報紙の発行	<p>きっかけ</p> <p>行動</p>	<p>「UMECOだより」は、一般市民や市内外の方にもUMECOの情報や取材したタイムリーな記事を提供するための情報紙である。市民や市民活動への興味を持って市民活動への担い手を増やす。</p> <p>「つながる」では、登録団体にUMECOの事業の情報や市民活動に関わる情報を提供しUMECOの利用促進と市民活動の活性化を図る。</p>	<p>市民が社会貢献活動に興味を持てるようイベントやボランティア募集の情報を掲載する。市民活動団体の情報だけでなく、市民が関心を示す社会的な記事・季節感ある記事等、情報紙として価値ある内容を載せる。</p> <p>◆偶数月隔月6回発行 登録団体に他団体の情報や、UMECOの活動を知らせるための記事を載せる。</p> <p>◆偶数月隔月6回発行 <u>今年度はイメージを改め事業報告より読んでいただけの予告事業の広報に力を入れ、新しい発想の中で保存したくなるような「UMECOだより」にしたいと考えている。</u></p>	<p>発行回数</p> <p>発行部数</p>	6	6
						各2500	各2500